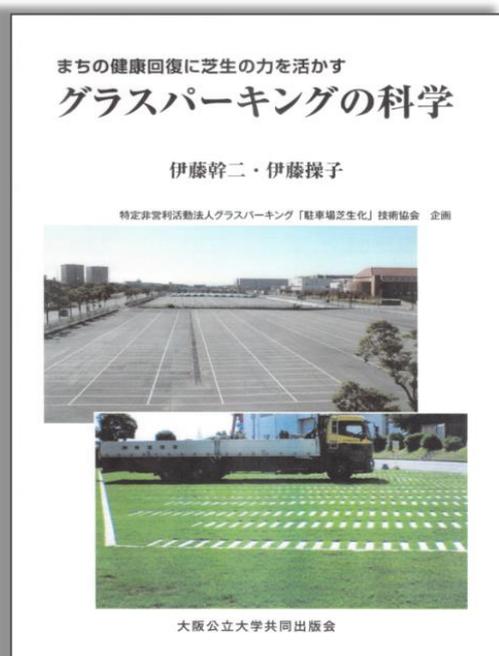


# グラスパーキングの科学

まちの健康回復に芝生の力を活かす

- 私たちのまちを次々に襲う気象災害や生物学的脅威、  
何が、まちの持続性を損なっているのでしょうか。
  - 住み続けられる健康なまちを取り戻すには、  
何を、私たちは知っている必要があるのでしょうか。
  - 気象変動に耐えられるレジリエントな(回復力・弾力性のある)まち、  
あなたも、まちにパラダイムシフト(変革・転換)をもたらす一員です。
  - まずできることから始めましょう。
- 「グラスパーキングの科学」はそのための参考書です。



A5版, 150頁, 定価 2,200円

## 著者

伊藤幹二 (京大農博・樹木医)  
マイクロフォレストリサーチ代表取締役  
NPO法人グラスパーキング技術協会理事  
伊藤操子 (京大農博・樹木医)  
京都大学名誉教授  
NPO法人グラスパーキング技術協会理事長

## 目次概要

### 《基礎編》

- 第1章 まちの環境汚染問題とその現実
- 第2章 まちの舗装と不透水化および水循環障害
- 第3章 まちの舗装とヒートアイランド現象
- 第4章 舗装駐車場の現状を知ろう
- 第5章 芝生の特性を知ろう
- 第6章 グラスパーキング(駐車場芝生化)とは
- 第7章 グラスパーキングはなぜ成功していないのか
- 第8章 駐車場芝生化に関わる社会的要素

### 《応用編》

- 第9章 駐車場芝生化の計画に必要なプロセス
- 第10章 芝草の種類と植え付け工法
- 第11章 駐車場芝生化の設計
- 第12章 駐車場の芝生化施工と初期管理
- 第13章 駐車場芝地の維持管理方針
- 第14章 駐車場芝地のメンテナンス:刈込み
- 第15章 駐車場芝地の保守点検と補修

企画 特定非営利活動法人グラスパーキング技術協会  
<http://www.gp-gijutsu.net>

発行 大阪公立大学共同出版会

## 購入お申込み方法

①ご希望部数, ②お申込者氏名, ③ご住所・団体名, ④お電話番号, ⑤メールアドレスを明記の上、メールまたはFAXにて、グラスパーキング技術協会宛お申し込みください。

FAX: 078-302-2850, e-Mail: ito-km@yk2.so-net.ne.jp

書評 BOOK REVIEW

『まちの健康回復に芝生の力を活かす グラスパーキングの科学』

伊藤幹二・伊藤操子 共著, 2020年6月5日発行, 大阪公立大学共同出版会, 138頁,  
定価: 2,420円(税込) ISBN 978-4-909933-18-8 C3061

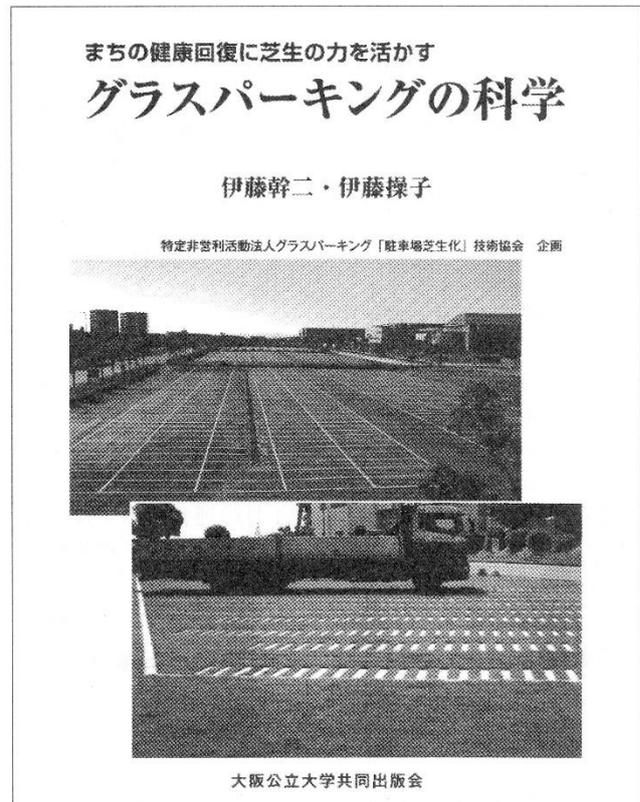
日本緑化工学会は創設時から都市緑化技術研究部会を設け、都市環境の改善を目指して活発に活動を展開してきた。その中で、ヒートアイランド現象対策を中心とする研究は早くから行われてきた。さらに近年ではグリーンインフラという名のもとに都市域における環境緩和機能に関する研究が急激に進みつつあるのは周知のことである。しかし、その一方、技術の開発では問題の根本的な解決にはならず、都市の改善手法や計画に踏み込んだ議論が必要であることもまた、本学会員は痛感しているであろう。

本書は、京都大学大学院農学研究科農学専攻を同時期に卒業し、その後、民と学の世界でそれぞれ活躍を続けてきたご夫婦である伊藤幹二氏と伊藤操子氏の共著による書物である。両氏がそれぞれ現役を退いたのちに積極的に行っておられる活動の一つである特定非営利活動法人グラスパーキングにおける研究成果を中心に書かれたのが本書であり、緑化工学とは異なる視点から都市の緑をとらえ、都市の環境が持つ問題点の抽出とその解決策の提案を行っており、本学会の会員にとっても新たな視点を与えるものであると同時に首肯できる考え方を安易に説明している。

本書は第1章から第8章までの基礎編と、第9章から第15章までの応用編に分けられている。それぞれの章はコンパクトにまとめられており、読みやすい表現になっている。

基礎編ではまず、都市部の環境の歴史的変遷に第1章でふれたあとで、第2章では都市部における不透水面の多さとそれがもたらす様々な都市内の水の動きの障害や環境負荷を物質循環機能、大気や水の浄化作用の視点から解説している。さらに第3章ではヒートアイランド現象に注目して、熱中症などにも触れている。これらを踏まえたうえで、駐車場の緑にすることの重要性を解説するために、第4章で駐車場の現状、第5章で利用する芝生の種特性と地域ごとの適性を述べている。さらに、第6章ではグリーンインフラと生態系サービス機能を解説したうえで、第7章でこれまで駐車場緑化がうまくいかなかった理由に言及し、関係者には真の意味での植物学的な専門家がいなかったことを述べている。さらに第8章では法律面での問題に言及し、駐車場を公共緑地として認識させる必要性や On site ではなく、In area での考え方が必要であると説いている。

応用編では、まず第9章で計画に必要なプロセスを述べ、目的の共有と同時に、環境効果・計画のスケール・時間がかかることの理解が必要であると説いている。さらに、第10



章で利用できる芝種と工法に関する説明、第11章で設計において必要な事項(設計要件、植栽基盤構造、床土設計、車両荷重対策、材料費と工期、デザインなど)の解説がされている。さらに第12章では、施工内容(材料の調整、播種量等)と適期や初期管理の期間に関する解説が、第13章では維持管理方針が、第14章ではメンテナンスとして最も重要な刈込に関する詳細が述べられている。最後に第15章では保守と補修に関する注意事項が示されている。補修においてはエアレーション、雑草抑制、病害や成長調整技術が述べられている。

本書は先に述べたように緑化工学の専門家による書ではない。しかし、長年にわたって農学者の視点から行われてきた研究成果に基づく知見は重要であり、都市部における環境緩和の視点から緑化を考えていくうえで、一読の価値があると思われる。

柴田昌三(京都大学地球環境学堂)